

(別紙5)

整理番号 2022P-66
補助事業名 2022年度地域社会及び消費者の安全・安心に資す活動補助事業
補助事業者名 公益財団法人全国教誨師連盟

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

現在、日本の犯罪者の占める割合は累犯者3割・初犯者7割であるが、犯罪件数は累犯者4割・初犯者が6割である。また、5年以内に累犯者の5割は再犯し、高齢者に至っては7割が再犯している。数年前は、犯罪件数の5割が累犯者であったことから考えると、以前より改善されているが、引き続き活発な教誨活動を行い被収容者の更生復帰に努力することで、累犯者の再犯を防ぎ地域社会及び消費者の安全・安心を守りたいと考えている。

教誨は、矯正施設に収容されている者に対する宗教活動であり、それを実施する宗教家を教誨師と称するが、教誨を実施するためには矯正の現状や支援、被収容者の動向等を理解していなければ、効果的で、質の高い教誨を実施することはできない。

そこで、全国教誨師連盟では、全国を8に分けた管区別研修会や、中央研修会、2年に1度の全国研修大会を開催し、また、各都道府県・各施設単位でも独自の研修会を開催し、教誨師は研鑽に励んでいる。

補助事業は、研修大会において、宗教家が教誨師としての質の向上、異なる教宗派の教誨師が絆を作り連帯感を高め、困難な被収容者にも対応できる教誨師を育成することを目的としている。

(2) 実施内容 <https://www.kyoukaishi.server-shared.com/jka/>

本年は、研修会の全国統一テーマを「新しい時代とともに」とし、矯正管区教誨師連盟ごとにサブテーマを設定して研修会を実施した。令和4年度はコロナ禍であったことから、参加人数を絞り込むとともに、開催期間を縮小し実施した管区が多かった。(札幌大会中止、東京大会規模縮小のため補助事業とせず。大阪大会は補助事業辞退)

中央研修会では、対象者を委嘱5年未満の教誨師とし、法務省矯正局長からの矯正の現状に関する講義や、先輩教誨師から心構えや体験談を拝聴し、「してはいけない教誨」というDVD映像を視聴後、グループディスカッションの中で、視聴した映像の検証を行い活発な討議がなされた。

全国大会では、3つの分科会に別れ、「加害者家族支援」「被害者支援」「施設内での中等教育」について講師を招いて討議が行われた。

各管区研修会でも、矯正の現状を学ぶとともに、各地域に即したテーマで活発な討議が行われた。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

教誨師が、研修大会で矯正の現状や被収容者を取巻く様々な問題を理解することで、その知識を活かし、各教宗派の教義に基づき、徳性を涵養し、人間性の回復を図る質の教誨を行うことができる。

質の高い教誨を受けることで、被収容者は指導内容をより良く理解することは、厚生復帰に資することとなり、再犯を防止することができる。

事業実施効果として、地域社会や消費者が被害者となることを防ぎ、地域社会及び消費者の安全・安心に繋がる。

また、補助事業は、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念から行っている社会貢献活動の障害者やニート、高齢者に対する支援と同様の効果がある。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

各研修会においてその記録誌を作成し、研修に参加できなかった教誨師に配布している。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人全国教誨師連盟（ゼンコクキョウカイシレンメイ）

住 所： 〒165-0026

東京都中野区新井3丁目37番地2号 矯正会館内

代 表 者： 役職名 理事長（リジチョウ）

担 当 部 署： 事務局（ジムキョク）

担 当 者 名： 役職名 書紀 岩城竜彦（イワキタツヒコ）

電 話 番 号： 03-3389-7411

F A X： 03-3387-3460

E - m a i l： zenren@soleil.ocn.ne.jp

U R L： [このころの豊かさと改善更生を促す教誨 | 全国教誨師連盟 \(server-shared.com\)](http://このころの豊かさと改善更生を促す教誨 | 全国教誨師連盟 (server-shared.com))